

埼玉県議会議員

深谷けんじ

徹底して現場へ

2022年
7月
第13号



▲深谷市の降ひょう被害を調査(深谷けんじ:右から2人目)



▲降ひょう被害を受けた作物



カボチャ畑で降ひょう被害について聴く西田氏
(左から3人目)ら＝5日 埼玉・深谷市

令和4年 6月 定例会 ひょう被害 8億7,450万円 追加補正予算

埼玉県議会6月定例会が6月17日～7月7日の会期で行われ、総額36億2,425万円の一般会計補正予算が成立しました。

公明党県議団は5月30日、「原油価格・物価高騰の影響を受ける県民・事業者への支援を求める要望」を大野知事に提出。成立した補正予算には、公明党の要望を受け、原油価格や物価高騰への緊急支援策が盛り込まれました(裏面に主な支援策を掲載)。また、脱炭素社会に向け中小企業や住宅の省エネ・再エネ設備投資を促進していきます。

6月2日及び3日の夕方に県北部や東部地域を中心に発生した降ひょうにより、小麦やスイートコーンなどの農作物をはじめ農業用生産施設などにも大きな被害が発生し、被害額は約38億円を超えました。深谷けんじは6月5日に深谷市を訪れ、農作物被害について調査(右記事参照)。調査結果をもとに翌6日には、大野知事へ公明党県議団として「被災農家への支援を求める要望」を提出しました。(右下写真 小畑農林部長に提出)

埼玉県はこの要望を受け、降ひょうによる被害を6月17日に条例に基づく特別災害に指定。県は傷付いた農作物の生育回復に必要な肥料代や、代替作や次期作に必要な種苗代等のほか、損壊した農業用生産施設の復旧に要する経費への補助を市町村と連携して行います。また、農業災害資金及び農業近代化資金の融資枠を拡大するとともに、農業者負担の無利子化を図るため、県独自の利子補給を実施します。被害を受けた農業者の再起を後押しできるよう、しっかりと支援していきます。



被災農家の再起後押し 深刻な降ひょう被害を調査

公明党埼玉県本部の西田まこと代表・参院会長、参院選予定候補・埼玉選挙区は5日、同県深谷市を訪れ、2日に県北部などで発生した降ひょうによる農作物被害について調査した。石渡豊、深谷順史の両県議と三田部恒明市議が同行した。西田氏は、市内の六次産業協同組合(持田直光代表理事)の農業者が、夏野菜を生産している畑を相次いで視察した。このうち約40㌔のカボチャ畑では、収穫間近だった実などが傷ついており、深刻な被害状況。

埼玉で西田氏

▲令和4年6月6日 公明新聞 1面(深谷けんじ:左から2人目)

県ワクチン接種センターで4回目接種も実施

7月にピークを迎える高齢者の4回目接種を補完するため、**7月～8月に、県のセンターで4回目接種を実施**

西部会場(川越市)

埼玉県川越市脇田本町1-2
山崎ビル(川越駅西口から徒歩1分)

予約開始日 令和4年6月21日(火)～
稼働日 月・金・土・日
受付時間 平日 10:30～19:00受付
土日祝 9:30～18:00受付
ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン



対象者

県内に住民票があり、3回目接種から5ヶ月経過した以下の方が対象です。

- 60歳以上の方、18～59歳の基礎疾患のある方
- その他重症化リスクが高いと医師が認める方

東部会場(越谷市)

南越谷ラクーナ:
南越谷駅・新越谷駅 徒歩3分

北部会場(熊谷市)

ニットモール:熊谷駅 徒歩3分

相談窓口

0570-071-077
(※電話でのご予約はできません)

※引き続き3回目接種も実施。
※記載内容は今後変更になる場合がございます。

ご予約はインターネットから
スマートフォンからのご予約
右のQRコードより予約サイトへ



原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者、事業者に対する緊急支援が決定

学校給食等の物価高騰に直面する保護者へ支援

予算額 9,406万5千円

概要 学校給食等の食材価格高騰に直面する保護者等の負担増加の回避のため、当面の間、**食材価格高騰相当額を補助**する。

対象校

- 県内で学校給食等を実施している以下の学校
- ▶ 県立の中学校・夜間定時制高校・特別支援学校
 - ▶ 私立の小学校・中学校・特別支援学校

補助内容

学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助(15%を目安)

(例)一食あたり300円→345円に高騰した場合

各校の給食会計

県からの補助▶
保護者負担額
(変更なし)

価格高騰相当分(45円)

保護者負担 (300円)

各業者へ
支払い



夏休み期間の子どもの食事等を確保するための支援

予算額 8,137万3千円

概要 子どもの居場所等の活動支援を通じて、夏休み期間に限り、子どもの食事等を確保するため、**食品や学用を子供に提供**する。

内容

提供品を用意

- 食品 レトルカレー パックご飯 など
- 学用品 ノート など

子どもの居場所等へ

- 提供品を利用して子どもとのつながりを継続

子どもたちの手元へ

- 食事機会の増加
- 子どもの見守り機会の増

子ども食堂

フードパントリー

学習教室

県内企業と協力・連携

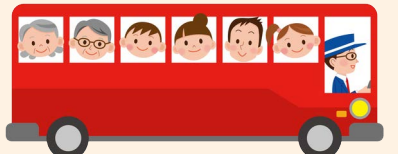
県内地域公共交通事業者への支援

予算額 4億2,880万円

概要 県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、**燃料費高騰の影響分を補助**する。

補助対象等

- ▶ 補助対象： 乗合バス2,400台
タクシー 5,900台
- ▶ 対象期間： 令和4年4月から9月まで



小さな声を、聴く力。通学路の安全を確保、子どもを守る！

ガードパイプ設置(寺山)

**ガードパイプ設置
通学路の安全確保**
埼玉県川越市
埼玉県川越市寺山にある
県道に先着、ガードパイ
プが設置された【写真】。
現地は下り坂で、スपी
ドを出したまま走行する車
が多い。市立山田小学校の
通学路になっているため、
児童と車の接触事故が起き
るのではないかと心配する
声が上がっていた。
同小学校に通う児童の保
護者から要望を受けた公明
党の嶋田弘二市議は、深谷
頭史郎議員と連携。深谷頭
史郎議員が県土整備事務所
に要望を出した。



▲5月13日付 公明新聞7面

横断歩道設置(南大塚)



**横断歩道を設け
児童の安全確保**
埼玉県川越市
埼玉県川越市南大塚3丁
目の市道に、このほど横断
歩道が設置された【写真】。
現地は市立武蔵野小学校
の通学路で、横断歩道の代
わりに赤い枠を引き、ドラ
イバーへの注意を呼び掛け
ていた。しかし、歩行者を優
先せず走り過ぎる車が後
を絶たず、児童の保護者か
らは「子どもたちが安心して
通学できるようにしてほ
しい」との声が上がってい
た。
要望を受けた公明党の小
ノ沢哲也市議は、深谷頭史
郎議員と連携し横断歩道の設
置を実現した。近隣の菅沼
智子さん、平原千穂さんは
「横断する際に車が停止し
てくれるようになり、安心
です」と語っている。

▲4月29日付 公明新聞6面



**点字ブロック補修
歩道に安全対策**
埼玉県川越市
埼玉県川越市笠幡の県道
15号の交差点で、このほど
歩道の点字ブロックが補修
され、ポールが新設された
【写真】。
現地は、盲学校である県
立特別支援学校埼玉第一学
園の生徒らが通学に使う。
補修前は点字ブロックが途
切れていて、生徒が歩く方
向を間違えることもあつ
た。近隣の水村宏さん、喜
代子さん夫妻から相談を受
けた公明党の桐野忠市議
は、深谷頭史郎議員と連携。
同県議が県土整備事務所へ
対策を求め、点字ブロック
補修と同時に巻き込み防止
のポールも設置された。

▲5月30日付 公明新聞7面



横断歩道設置(中福)

**小学校通学路に
横断歩道を新設**
埼玉県川越市
埼玉県川越市中福の市道
に、このほど横断歩道が新
設された【写真】。
現地は、市立福原小学校
の通学路。県道6号と市道
が交わっており、市道沿い
には住宅街もあり車の出入
りが多い。そのため同校の
児童の保護者から、横断歩
道設置を求める声が上がっ
ていた。
公明党の中村文明市議
は、中福南自治会の石川秀
夫前会長から相談を受け、
深谷頭史郎議員と連携して市
や県に改善を求めた。
石川前会長は「多くの人が
喜ばれている」と語って
いる。

▲4月27日付 公明新聞7面

深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳
川越市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局長

議会運営委員会 委員
環境農林委員会 副委員長
人材育成・文化・スポーツ振興
特別委員会 委員
図書室委員会 委員

深谷けんじホームページ



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408

自宅事務所

〒350-0015
埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566
FAX048-611-7393